

## 車体が敵地で紡織を上回る

### ~第34回日本ハンドボールリーグ・第11週~

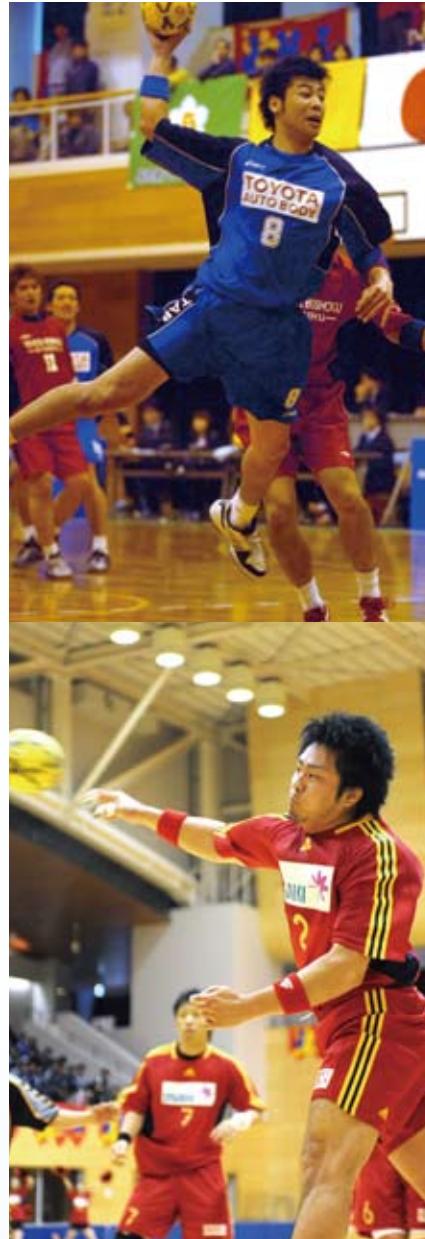
日本ハンドボールリーグ第11週は、11月21、22日の2日間で男子のみ3試合が行われた。開幕から8連勝と快進撃を続ける大同特殊鋼は豊田合成に、5勝1分2敗の2位で大同を追う大崎電気は北陸電力に順当勝ち。プレーオフ出場権をめぐって大きなポイントとなるトヨタ紡織九州とトヨタ車体の激突は、大激戦の末、トヨタ車体が31-30の1点差で貴重な白星をGETした。

11月21日、愛知での合成-大同戦。リーグ4連覇中の王者・大同に立ち向かうチャレンジャーの合成は、スタートから大同の大黒柱・白を密着マークする作戦に出て大同の足の動きを止め、森光のサイドシュート、今村のミドルシュートなどで得点。開始12分、6-3と合成が序盤の主導権を握った。それでも、王者・大同は慌てることなく態勢を立て直し、末松のサイドシュートで1点を返した後、千々波のポストシュートなどで6連取。20分、9-6とあっさり主導権を奪い返した。その後も大同は手堅いディフェンスで合成の反撃を封じるとともに、7mスロー1本を含め、13本のシュートを放って12点と高確率でゴールを決めた末松を中心に、持ち前の速攻で得点を量産。40-19と大量21点差をつけ、無難に開幕からの連勝を9に伸ばした。

同日、地元・埼玉で北電の挑戦を受けた大崎は、開始42秒、豊田の7mスローで先制し、さらに太田、小澤、猪妻らのスピードあふれる攻撃を繰り出し、4分、5-0と好発進。15分には11-4と大崎のリードは7点まで広がり、試合はワンサイドかに思われたが、そこから大崎の攻守がやや雑になり、シュートミスに加えて退場者も出す間に、北電は神田、落合ら主力選手の活躍を軸に追撃。ハーフタイムをはさんでも北電の勢いは続き、後半2分には15-13と7点あった大崎のリードは2点に縮まった。しかし、大崎はGK東の堅守やルーキー森の強打、同じくルーキー染谷のリーグ初得点など、若手の活躍で北電の勢いを押し返し、17分には22-14とこの試合最多の8点リード。終盤は余裕を持った試合運びで大崎が6勝目をマークした。

22日、佐賀での紡織-車体戦は、今週のハイライトとも言えるゲーム。開始4分、4-1と先手を取った紡織は、中盤も石黒の活躍で20分、12-7と5点リード。だが、第1ラウンドで紡織に先行を許して後のない車体もこのまま引き下がるわけもなく、射程距離を保って後に望みをつないだ。後半10分、23-19と紡織リードの場面から、車体はディフェンスシステムを6:0から5:1にチェンジ。この車体の仕掛けに紡織がミスを連発するとともに、車体・GK木下がファインセーブでムードを盛り上げ、16分、24-23と車体が逆転に成功した。以降は双方に流れが行き交う白熱戦となったが、前半ミスの多かった展開を修正した車体に対し、後半なかば以降、ミスが目立った紡織。残り52秒、30-29と1点リードの場面から紡織のミスを銘苅のダメ押しゴールにつなげた車体が貴重な6勝目をつかんだ。

次の第12週は11月28日、愛知、宮崎で男子のみ3試合が予定され、宮崎では今週試合のなかった湧永製薬と首位・大同、愛知では大きな1勝をつかんだ車体と2位・大崎の対戦に注目が集まる。



㊤貴重な白星をマークしたトヨタ車体・藤田  
㊦大崎電気は染谷ら若い力で6勝目

### 第12週の日程

	愛知	福沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「福沢市役所」下車徒歩8分)	14:00~	(男)	豊	田	合	成	×	琉	球	コ	ラ	ソ	ン
11月28日(土)		知立市福祉体育館(名鉄名古屋本線知立駅徒歩10分)	14:00~	(男)	ト	ヨ	タ	車	体	×	大	崎	電	気	
宮崎		小林市市民体育館(JR吉都線小林駅東方向徒歩5分)	16:00~	(男)	湧	永	製	薬	×	大	同	特	殊	鋼	

◆ 11月21日(土) 男子 埼玉・和光市総合体育館				◆ 11月21日(土) 男子 愛知・稲沢市総合体育館				◆ 11月22日(日) 男子 佐賀・神埼中央公園体育館			
大崎電気 24 (14-11) 6勝1分2敗	北陸電力 18 0勝1分9敗	トヨタ車体 31 (13-16) 6勝0分3敗	トヨタ紡織 九州 4勝2分3敗								
2/ 2 染 谷 高 橋 2/ 6 3/ 6 小 澤 神 田 7/14 1/2 0/ 3 豊 田 落 合 4/ 9 0/ 1 望 月 桜 井 2/ 8 1/1 1/ 3 永 島 前 田 0/ 0 4/ 5 太 田 高 田 1/ 1 <0/1> K 東 杉 山 1/ 3 4/ 5 森 表 0/ 0 0/1 1/ 1 岩 永 山 原 0/ 3 0/ 2 夏 山 松 岡 0/ 1 K 石 原 丸 山 K <1/2> 0/ 0 秋 山 石 塚 0/ 1 1/1 4/ 7 内 田 櫛 田 0/ 0 1/2 2/ 5 猪 妻 有 江 K <2/4>	大同特殊鋼 40 (17- 9) 9勝0分0敗	豊田合成 19 1勝2分6敗	木 下 松 野 K <0/2> 3/ 4 石 戸 中 島 8/15 5/ 6 佐々木 西 端 0/ 0 3/ 4 高 智 村 上 直 1/ 3 0/ 0 野 村 村 上 秀 5/ 7 5/ 9 藤 田 吳 相 民 2/ 6 0/ 1 高 木 佐 久 間 1/ 1 0/ 0 北 出 鶴 田 0/ 0 0/ 0 小 沢 海 道 3/ 3 1/ 2 鶴 谷 阪 3/ 4 1/ 1 香 川 鈴 木 0/ 1 2/2 3/ 5 銘 莜 藤 山 1/ 3 2/2 8/13 門 山 石 黒 4/ 6								
3/6 21/40 9(FPP)7 審判 (黒木龍・黒木秀)	17/46 1/1 観客 592人	1/1 39/57 5(FPP)2 審判 (寺内・細川)	18/48 1/2 観客 534人	2/2 29/45 7(FPP)7 審判 (藤井・大熨)	28/49 2/2 観客 361人						



## 北國銀行

### 『グリモン』に込められた熱い想い

私たちは、地元石川で試合がある時にはサポーターの方が作ってくださった緑の『グリーンモンスターTシャツ』通称『グリモン』をアップで着ています。

また会場では200枚のグリモンをレンタルし、サポーターの方々、また中学生・高校生などの子供たちにも着てもらい、会場を北國のチームカラーである緑色に染めて、選手・サポーターが一体となって戦っています。

中には選手のサイン入り・背番号入りなどもあり、昨年のプレーオフではサポーターの方々に選手それぞれのグリモンに寄せ書きをしてもらい、そのTシャツ

を着てアップをしました。いつもサポーターの方たちの想いと共にコートに立ち、パワーをもらって戦っています。

北國銀行の応援に来られた方は、私たちと一緒にグリモンを着て日本リーグ初制覇に向けて共に戦いましょう。



## 「2009女子チャレンジリーグ」開催

「2009女子チャレンジリーグ」が11月21から23日まで大同特殊鋼体育館（愛知県名古屋市）で開催された。第19回世界女子選手権のブレイク期間を利用して行われたこの大会は、日本リーグ選手全体のレベルアップを図るとともに、日本リーグに次ぐ実力を持つチームの育成を図り、各チームの活動の場を広げて日本リーグ入りを促進するのが狙い。

オムロン、北國銀行、ソニーセミコンダクタ九州、広島メイプルレッズ、

香川銀行T・H、HC高山が参加した3日間の交流試合は6チーム総当たりリーグが実施され、5戦全勝のソニーセミコンダクタ九州らが好調さを示した。

### 11月21日

北國銀行 23 (12- 8)  
広島メイプルレッズ 20 (11-10)  
ソニーセミコンダクタ九州 26 (12-14)  
オムロン 21 (8-11)  
ソニーセミコンダクタ九州 22 (12-11)  
香川銀行T・H 30 (16- 7)

21 オムロン  
15 H C 高山  
21 香川銀行T・H  
21 広島メイプルレッズ  
20 北國銀行  
15 H C 高山

### 11月22日

ソニーセミコンダクタ九州 27 (12-11)  
北國銀行 26 (10- 9)  
ソニーセミコンダクタ九州 21 (11- 7)

24 オムロン  
13 香川銀行T・H  
15 H C 高山

香川銀行T・H 19 (9- 8)  
オムロン 21 (10- 5)  
広島メイプルレッズ 18 (6- 8)

17 ルレッズ  
15 H C 高山  
17 北國銀行

### 11月23日

オムロン 25 (13-15)  
ソニーセミコンダクタ九州 30 (18-18)  
北國銀行 37 (19- 8)

23 香川銀行T・H  
27 ルレッズ  
16 H C 高山

# 男女個人ランキング 第11週終了

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	75 点	(9試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	79 点	(9試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	65 点	(9試合)	2	郭 晃靜	(ソニ一)	61 点	(9試合)
3	神田 友和	(北陸電力)	54 点	(10試合)	3	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	57 点	(9試合)
4	豊田 賢治	(大崎電気)	51 点	(9試合)	4	藤井 紫緒	(オムロン)	55 点	(7試合)
5	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	50 点	(9試合)	5	横嶋かおる	(北國銀行)	54 点	(9試合)
6	今村 彰伸	(豊田合成)	46 点	(9試合)	5	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	54 点	(9試合)
7	武田 享	(大同特殊鋼)	45 点	(8試合)	7	高橋 恵	(ソニ一)	51 点	(9試合)
8	小澤 広太	(大崎電気)	42 点	(9試合)	8	高栖 由香	(ソニ一)	42 点	(9試合)
8	落合 信也	(北陸電力)	42 点	(10試合)	9	高田 裕梨	(オムロン)	38 点	(9試合)
10	銘苅 淳	(トヨタ車体)	41 点	(9試合)	10	洪 廷昊	(オムロン)	37 点	(9試合)
10	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	41 点	(8試合)	10	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	37 点	(9試合)
12	東長濱秀作	(湧永製薬)	39 点	(7試合)	10	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	37 点	(9試合)
12	白 元皓	(大同特殊鋼)	39 点	(9試合)	13	若松 里佳	(北國銀行)	36 点	(9試合)
12	村山 裕次	(琉球コラソン)	39 点	(8試合)	14	工藤 麻衣	(ソニ一)	34 点	(9試合)
15	森光 勇太	(豊田合成)	38 点	(9試合)	15	仲宗根 彩	(北國銀行)	32 点	(9試合)
15	志慶真龍我	(琉球コラソン)	38 点	(8試合)					

### フィールド得点

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	67 点	(9試合)	1	郭 晃靜	(ソニ一)	61 点	(9試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	65 点	(9試合)	2	上町 史織	(北國銀行)	58 点	(9試合)
3	神田 友和	(北陸電力)	54 点	(10試合)	3	横嶋かおる	(北國銀行)	54 点	(9試合)
4	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	50 点	(9試合)	4	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	43 点	(9試合)
5	今村 彰伸	(豊田合成)	46 点	(9試合)	5	高栖 由香	(ソニ一)	42 点	(9試合)
6	武田 享	(大同特殊鋼)	45 点	(8試合)	5	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	42 点	(9試合)
7	小澤 広太	(大崎電気)	42 点	(9試合)	7	高橋 恵	(ソニ一)	40 点	(9試合)
7	豊田 賢治	(大崎電気)	42 点	(9試合)	8	高田 裕梨	(オムロン)	38 点	(9試合)
9	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	40 点	(8試合)	8	藤井 紫緒	(オムロン)	38 点	(7試合)
10	落合 信也	(北陸電力)	39 点	(10試合)	10	洪 廷昊	(オムロン)	37 点	(9試合)
					10	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	37 点	(9試合)

### シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	67点/ 92射 0.728	1	高栖 由香	(ソニ一)	42点/ 48射 0.875
2	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	40点/ 66射 0.606	2	横嶋かおる	(北國銀行)	54点/ 69射 0.783
3	小澤 広太	(大崎電気)	42点/ 71射 0.592	3	洪 廷昊	(オムロン)	37点/ 62射 0.597
3	豊田 賢治	(大崎電気)	42点/ 71射 0.592	4	高田 裕梨	(オムロン)	38点/ 66射 0.576
5	門山 哲也	(トヨタ車体)	65点/110射 0.591	5	上町 史織	(北國銀行)	58点/ 101射 0.574

### 7mスロー得点

1	銘苅 淳	(トヨタ車体)	16 点	(9試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	21 点	(9試合)
1	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	16 点	(9試合)	2	藤井 紫緒	(オムロン)	17 点	(7試合)
3	村山 裕次	(琉球コラソン)	14 点	(8試合)	3	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	15 点	(9試合)
4	東長濱秀作	(湧永製薬)	11 点	(7試合)	4	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	14 点	(9試合)
4	森光 勇太	(豊田合成)	11 点	(9試合)	5	高橋 恵	(ソニ一)	11 点	(9試合)
					5	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	11 点	(9試合)

### 7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	8本/ 13射 0.615	1	勝田 祥子	(オムロン)	6本/ 13射 0.462
2	東 佑三	(大崎電気)	5本/ 12射 0.417	2	家城 千香	(H C 名古屋)	8本/ 19射 0.421
3	東 直明	(大同特殊鋼)	4本/ 10射 0.400	3	浅井友可里	(バイオレットアイリス)	4本/ 13射 0.308
3	有江 啓	(北陸電力)	4本/ 10射 0.400	4	近藤 澄江	(H C 名古屋)	5本/ 17射 0.294
5	藤田 東吾	(豊田合成)	3本/ 10射 0.300	5	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	4本/ 14射 0.286

# 第34回日本ハンドボールリーグ成績表

第11週終了 11月22日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	湧永製薬	豊田合成	琉球コラソン	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		24 ○ 19	30 ○ 23	35 ○ 29	32 ○ 26	48 40 ○ ○ 24 19	35 ○ 24	36 40 ○ ○ 23 24	9	9	0	0	18	320	211	109
2	大崎電気	19 ● 24		36 ○ 25	30 28 △ ○ 30 26	21 ● 28	43 ○ 18	34 ○ 27	28 24 ○ ○ 24 18	9	6	1	2	13	263	220	43
3	トヨタ車体	23 ● 30	25 ● 36		27 31 ● ○ 28 30	32 ○ 30	30 ○ 24	33 30 ○ ○ 23 27	28 ○ ○ 17	9	6	0	3	12	259	245	14
4	トヨタ紡織九州	29 ● 35	30 26 △ ● 30 28	28 30 ○ ● 27 31		23 △ 23	40 ○ 21	36 ○ 28	30 ○ 23	9	4	2	3	10	272	246	26
5	湧永製薬	26 ● 32	28 ○ 21	30 ● 32	23 △ 23		39 ○ 23	37 ○ 26	35 ○ 17	7	4	1	2	9	218	174	44
6	豊田合成	24 19 ● ● 48 40	18 ● 43	24 ● 30	21 ● 40	23 ● 39		22 △ 22	22 24 △ ○ 22 17	9	1	2	6	4	197	301	-104
7	琉球コラソン	24 ● 35	27 ● 34	23 27 ● ● 33 30	28 ● 36	26 ● 37	22 ● 22	22 △ 29	33 ○ 29	8	1	1	6	3	210	256	-46
8	北陸電力	23 24 ● ● 36 40	24 18 ● ● 28 24	17 ● 28	23 ● 30	17 ● 35	22 17 △ ● 22 24	29 ● ● 33		10	0	1	9	1	214	300	-86

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイス	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		25 21 ● ○ 30 19	27 36 ● ○ 28 21	23 ○ 16	33 36 ○ ○ 17 15	40 37 ○ ○ 11 14	9	7	0	2	14	278	171	107
2	北國銀行	30 19 ○ ● 25 21		33 23 ○ ● 27 31	29 30 ○ ○ 21 18	34 31 ○ ○ 28 22	37 ○ 16	9	7	0	2	14	266	209	57
3	ソニーセミコンダクタ九州	28 21 ○ ● 27 36	27 31 ● ○ 33 23		32 35 ○ ○ 20 28	45 ○ 26	42 42 ○ ○ 15 20	9	7	0	2	14	303	228	75
4	三重バイオレットアイス	16 ● 23	21 18 ● ● 29 30	20 28 ● ● 32 35		27 21 ● ○ 28 15	30 31 ○ ○ 15 16	9	3	0	6	6	212	223	-11
5	広島メイプルレッズ	17 15 ● ● 33 36	28 22 ● ● 34 31	26 ● 45	28 15 ○ ● 27 21		36 33 ○ ○ 20 13	9	3	0	6	6	220	260	-40
6	HC名古屋	11 14 ● ● 40 37	16 ● 37	15 20 ● ● 42 42	15 16 ● ● 30 31	20 13 ● ● 36 33		9	0	0	9	0	140	328	-188

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。